



平成 27 年 1 月 9 日 (金)

四国地方整備局松山河川国道事務所

まつやまそとかんじょうどうろ

松山外環状道路インター線 (市坪IC~余戸南IC) が

**3月21日 (土曜日) に開通します。**

今回の開通により、

**国道56号から松山IC間をつなぐ、新たなルートが誕生します。**

松山河川国道事務所・愛媛県・松山市が協同で整備を進めている松山外環状道路インター線のうち、市坪IC~余戸南IC間(延長 1.8km)が開通します。

1. 開通日 平成 27 年 3 月 21 日 (土曜日)
  2. 開通区間 自 : 市坪IC(愛媛県松山市市坪南3丁目)  
至 : 余戸南IC(愛媛県松山市余戸南2丁目)
  3. 開通延長 1.8km (全体延長 4.8km、開通済み区間井門IC~古川IC間 1.2km)
  4. 今回開通区間の事業主体 自動車専用道路部:国土交通省  
一般道路部:国土交通省、松山市
- ※開通式典・開通時間等の詳細な内容については、後日お知らせします。

### ~今回の開通により期待される効果~

効果1: **国道56号から松山IC間の所要時間が約7割短縮**され、松山市西部、松前町方面から高速道路への利便性が向上します。

効果2: 並行する幹線道路の交通が分散され、**市内の交通事故削減**が期待されます。

本施策は、四国圏広域地方計画「No.5 圏域の連携による発展に向けた地域力向上プロジェクト」及び「No.6 防災力向上プロジェクト」の取り組みに該当します。

お問い合わせ先 (○主な問い合わせ先)

#### 【自専道路部】

国土交通省 四国地方整備局 松山河川国道事務所 電話 089-972-0034 (代表)

○副所長 黒木 賢二郎 (内線205)

工務第二課長 神前 巖 (内線411)

#### 【一般道路部】

松山市 都市整備部 道路建設課 電話 089-948-6570 (直通)

○主幹 宮浦 博義

# 松山外環状道路の概要

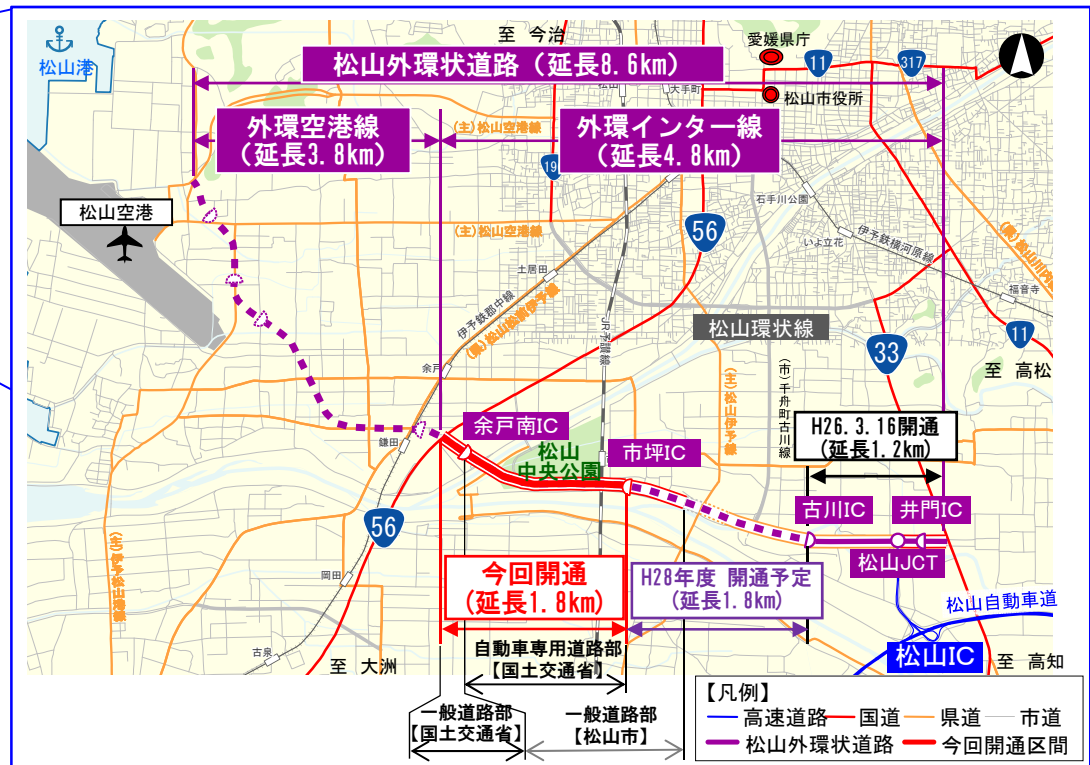
## ●全体概要

- ・松山外環状道路（以下、外環）は、松山IC・松山空港・松山港等の地域の交通拠点間のアクセス性向上、市内中心部へ流入する交通の分散を目的とした地域高規格道路で、自動車専用道路部は国土交通省、一般道路部は愛媛県、松山市、国土交通省が整備しており三者が協同で事業を実施しています。

### 【今回区間の概要】

- ・一般国道33号 松山外環状道路インター線
- ・開通区間 市坪IC～余戸南IC（自動車専用道路）、市坪南～国道56号（一般道路）
- ・延長L=1.8km
- ・開通日 平成27年3月21日（土）
- ・車線数 自動車専用道路は暫定2車線 一般道路は完成2車線（上下線別）
- ・事業主体 自動車専用道路：国土交通省 一般道路：松山市、国土交通省

## 「外環インター線」の開通予定平面図

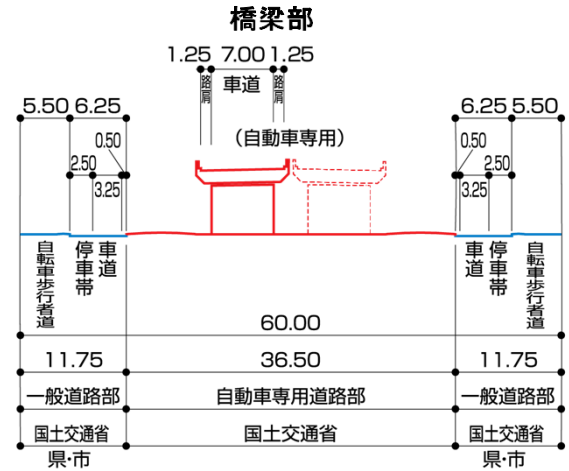
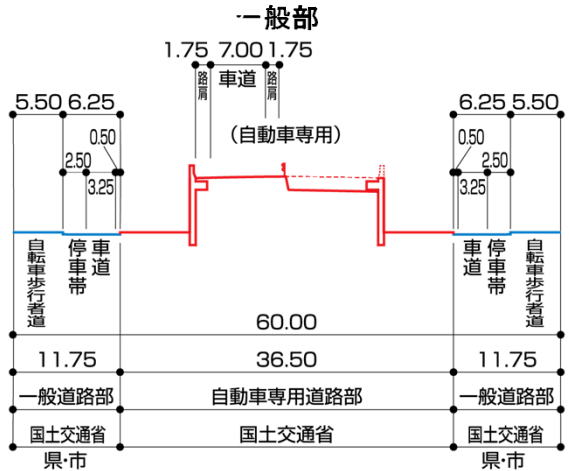


## 「外環インター線」の事業区分



# 「外環インター線」の標準断面図

(単位：m)



## 今回開通区間の状況



■写真①：松山中央公園周辺 (平成26年12月)



■写真②：余戸南IC周辺 (平成26年12月)

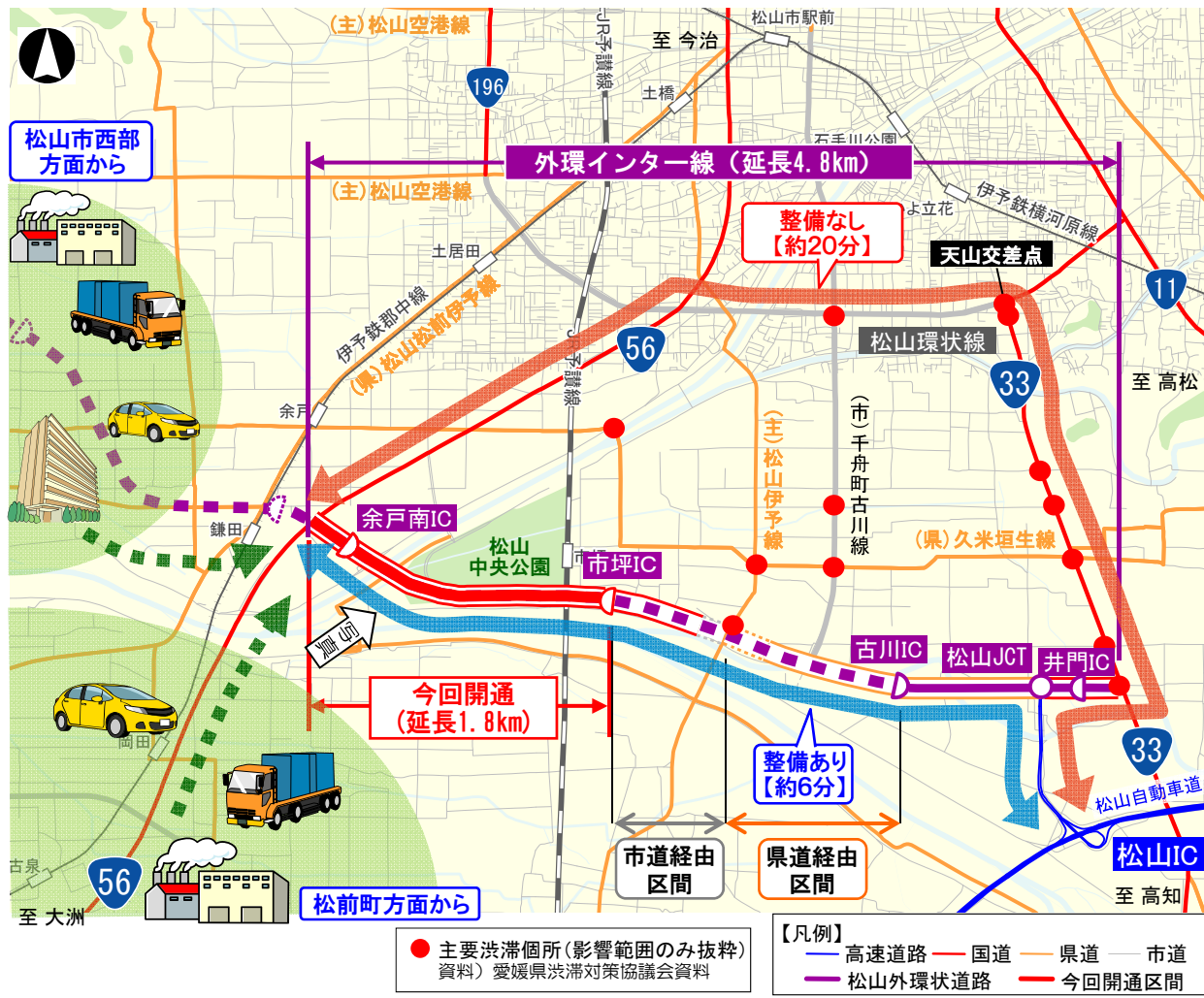




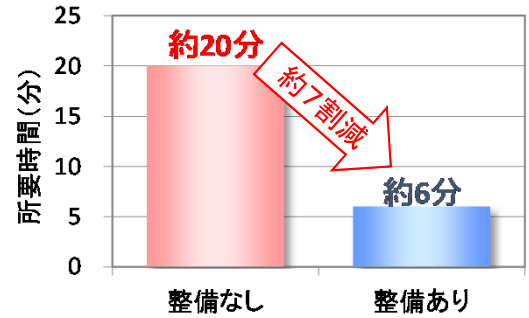
# 整備効果① 松山市西部、松前町方面からの松山ICへの利便性向上

- 主要幹線道路である国道56号から松山IC及び国道33号までを繋ぐ新たなルートが形成され、**国道56号～松山IC間の所要時間が約7割短縮**されるなど、**松山市西部、松前町方面から高速道路への利便性が向上**します。
- また、交通の分散により、「主要渋滞箇所」の天山交差点等の渋滞軽減が期待されます。

## 新しいルートの形成



■所要時間の短縮  
(国道56号～松山IC)



■整備が進む外環インター線

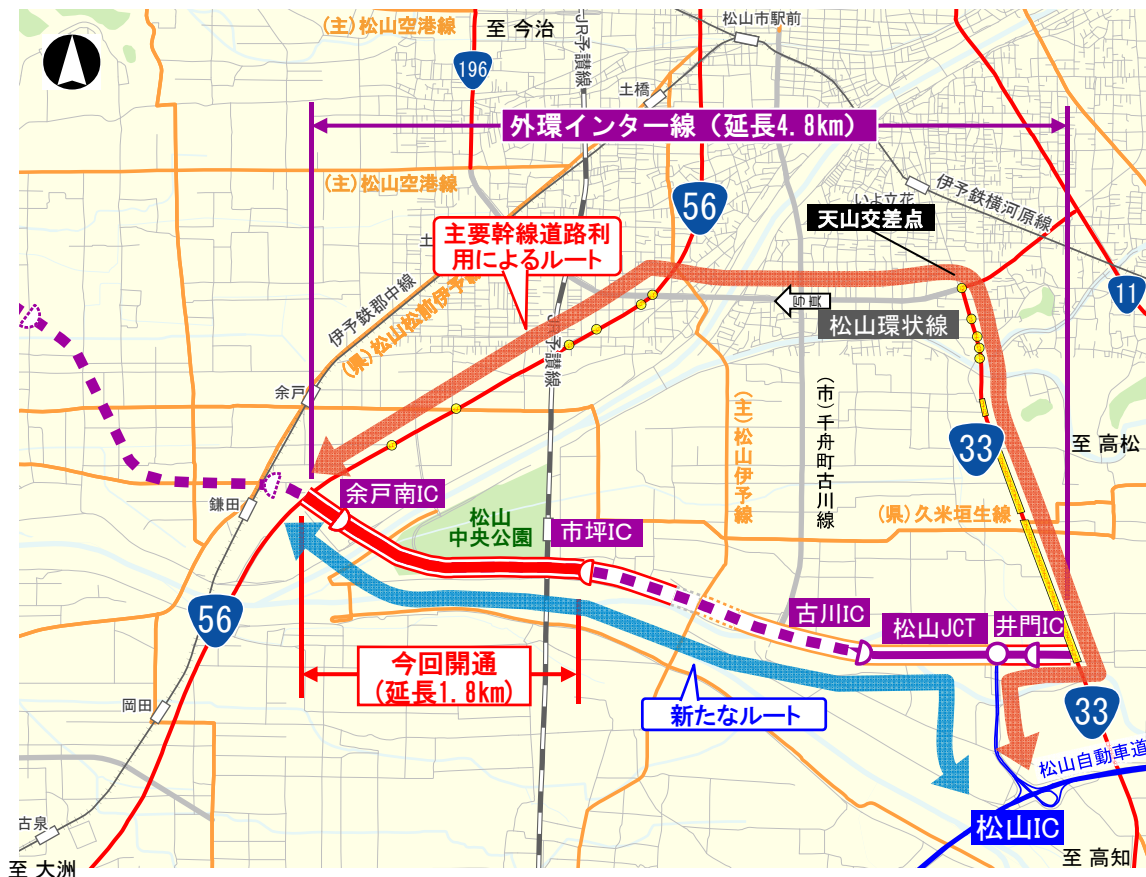


※所要時間：  
 「整備なし」は、平成26年10月21日の調査結果による  
 実測値（7:00～19:00の間での最大所要時間）  
 （整備なしルートは、幹線道路を利用した一般的なルート）  
 「整備あり」は、自動車専用道路区間を[時速60km]、それ以外の区間  
 を[時速40km]と仮定し算出。  
 （整備ありルートは、『松山IC～松山JCT～古川IC～県道・市  
 道～市坪IC～余戸南IC～国道56号』）

## 整備効果② 松山市内の交通事故削減

- これまでの開通（井門IC～古川IC）により、国道33号の**交通事故が約3割減少**し、特に**追突事故は約5割減少**しました。
- 今回の開通により、主要幹線道路である国道56号、松山環状線、国道33号を利用していた車両の外環インター線への更なる交通分散が予想されるため、天山交差点等の事故が多発する箇所において、交通量減少による**市内の交通事故削減**が期待されます。

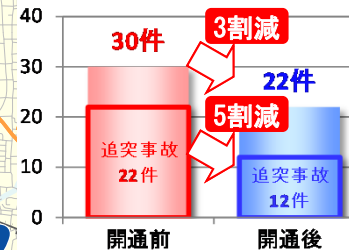
### 新しいルートによる事故多発箇所利用の回避



● H21～H24年平均で死傷事故率が100以上の箇所(国道を対象)  
 ※死傷事故率とは1億台の車が1km走行した場合に起こる死傷事故件数

【凡例】  
 高速道路 国道 県道 市道  
 松山外環状道路 今回開通区間

### これまでの開通による国道33号の交通事故件数の変化



資料：愛媛県警交通企画課調べ  
 ・集計対象 人身事故  
 (自転車相互、自転車対歩行者、  
 自転車の単独事故を除く)  
 ・集計対象区間 国道33号  
 (天山交差点～松山IC入口交差点)  
 ・集計対象期間  
 開通前：平成25年9月16日～  
 平成26年3月15日  
 開通後：平成26年3月16日～  
 平成26年9月15日

### 更なる交通分散が予想される松山環状線





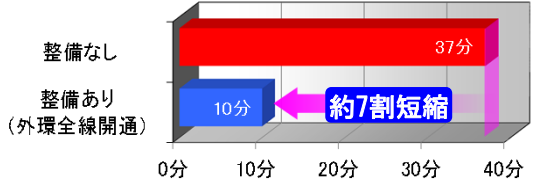
# 参考① 外環全線開通により期待される効果 -松山空港へのアクセス向上-

●外環の全線開通により、**松山ICと松山空港が自動車専用道路で結ばれ、混雑する市街地を通過しないルートにより所要時間が約7割短縮**されるなど、**広域交通拠点間のアクセス向上**が図られ、物流の効率化に加え、西条、大洲方面からも利便性が向上します。

## 松山空港へのアクセス性向上



【所要時間の短縮（松山IC～松山空港）】



※所要時間：  
 「整備なし」は、平成26年10月21日の調査結果による実測値（7:00～19:00間での最大所要時間）（ルートは、幹線道路を利用した一般的なルート）  
 「整備あり」は、自動車専用道路区間を[時速60km]、それ以外はH22センサス混雑時平均旅行速度を基に算出

**臨海工業地帯に立地する企業の声 (平成25年6月)**

・(南側・北側ともに)松山空港線は慢性的に渋滞しており、また、松山環状線は天山交差点に向けて渋滞がひどく時間が読めないので出発を早めています。空港通り2交差点は、特に渋滞がひどく、混雑時間帯は全く動かず困っています。

＜物流部門担当者＞

- 【凡例】
- 高速道路
  - 国道
  - 県道
  - 市道
  - 松山外環状道路
  - 今回開通区間
  - 開通前のルート
  - 開通後のルート